

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年05月10日

計画の名称	度会町社会資本総合整備計画（地域住宅計画）												
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	度会町												
計画の目標	町民のだれもが安全安心な住生活を実現するため、真に住宅に困窮する低所得者等の世帯に低廉な家賃で住宅を供給することにより、居住の安全確保を図る。 度会町における空き家実態把握調査を実施し、不良空き家住宅の除去並びに活用を推進し、住環境の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	27	A	27	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	真に公営住宅への入居を必要とする低所得者世帯に住宅を提供する。 対象の町営住宅に入居する全世帯のうち低所得者世帯の割合（%） 対象住宅への低所得世帯入居率 = (対象住宅への入居全世帯数 - 対象住宅への収入超過者等世帯数) / 対象住宅への入居全世帯数	H27当初	28	H30 末
2	空き家実態把握を実施した地区数。 空き家の可能性がある地点（空き家候補）のうち、調査を実施した件数割合 (調査済割合) = (調査件数) ÷ (空き家候補数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 度会町にて実施	事後評価の実施時期 計画終了後（R元年5月）
	公表の方法 町のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	町営住宅に係る経費の負担減により、地域間の不均衡が調整され、低所得者等の居住が安定して確保できた。 度会町内における空き家の実態が把握でき、今後の空き家対策に活用する資料が作成できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
城山団地に関しては、予防保全的な管理や改善を推進し、ライフサイクルコストの削減等を目指す。 今後、空き家実態把握調査資料を不良空き家住宅の除去等の対策に活用していきます。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%